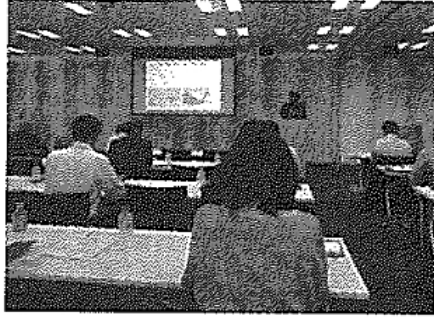


三菱総合研究所（東京都千代田区）が2010年に発足させたプラチナシニア研究会は、6月25日「CCRCビジネス分科会」を新たに立ち上げた。

高齢者がリタイア後の生活を満喫するともに



▲6月25日の説明会の様子

今回の分科会は、このCCRCを日本国内でビジネス化することを目的とするもの。将来的には分科会参加事業者による民間コンソーシアムの形成も視野に入れる。

「今後3年間で、約800万人の団塊の世代がリタイアします。

CCRCビジネスを研究

三菱総研、専門分科会立上げ

彼らが20年間のリタイア後の時間をどう過ごすかを考えたときにCCRCは非常に大きなビジネスに成長する可能性を秘めています。特に医療や介護に留まらず、不動産や保険、金融、スポーツ、趣味、娯楽、教育などCCRCには多くの産業が関るため、経済効果も大きいものと考えています」（三菱総合研究所）

分科会は7月末に第1回会合を開催予定。9月末までに4回の会合を行い、研究報告書を取りまとめる。また10月にはアメリカ視察も予定している。